

2023年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年8月7日

上場会社名 三洋貿易株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3176 URL <https://www.sanyo-trading.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新谷 正伸
 問合せ先責任者(役職名) 管理部門担当取締役 (氏名) 白井 浩 (TEL) 03-3518-1111
 四半期報告書提出予定日 2023年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第3四半期の連結業績(2022年10月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	91,433	15.3	5,336	26.8	5,635	10.9	3,732	3.5
2022年9月期第3四半期	79,271	15.9	4,207	△17.2	5,080	△9.7	3,604	△4.9

(注) 包括利益 2023年9月期第3四半期 4,426百万円(△4.0%) 2022年9月期第3四半期 4,609百万円(5.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第3四半期	129.84	129.02
2022年9月期第3四半期	125.57	124.72

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第3四半期	65,715	42,442	63.9
2022年9月期	62,859	39,212	61.7

(参考) 自己資本 2023年9月期第3四半期 41,999百万円 2022年9月期 38,760百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	19.00	—	21.00	40.00
2023年9月期	—	21.00	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	—	—	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日～2023年9月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	128,000	15.1	6,500	22.2	6,800	7.9	4,500	4.7	156.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年9月期3Q	29,007,708株	2022年9月期	29,007,708株
2023年9月期3Q	237,385株	2022年9月期	284,120株
2023年9月期3Q	28,744,444株	2022年9月期3Q	28,703,796株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の法的位置づけが季節性インフルエンザと同等の分類へと移行されたことで経済活動の本格的な再開が加速した一方、エネルギーや原材料価格高騰の影響の継続、供給面での制約、円安・ドル高、金融資本市場の変動等により、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。世界経済は、中国経済の回復の遅れ、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、原料やエネルギーコストの高騰、インフレの継続などを背景に各国で景気後退懸念が広がり、先行き不透明な状況が続きました。

このような環境下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、91,433百万円（前年同四半期比15.3%増）となり、営業利益は5,336百万円（前年同四半期比26.8%増）、経常利益は5,635百万円（前年同四半期比10.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,732百万円（前年同四半期比3.5%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

①化成品

ゴム関連商品は、昨年来の販売単価上昇で、売上は前年同四半期比増を維持するものの、利益は円安などによる欧米からの輸入品の仕入れ価格高騰の影響を受け、減少しました。

化学品関連商品は、年初に新たに立ち上がった新規取扱商材の貢献もあり、売上は前年同四半期比増となりましたが、円安による仕入れ価格高騰により、利益は前年同四半期並みとなりました。ライフサイエンス関連商品は香料、染料など輸入ビジネスは好調を維持し、また、リチウムイオン電池用関連部材は回復傾向にあります。主力の電材、機能性食品原料などの輸出ビジネスが苦戦し、売上、利益ともに前年同四半期比減となりました。

この結果、売上高は29,279百万円（前年同四半期比5.2%増）、セグメント利益（営業利益）は1,667百万円（前年同四半期比11.5%減）となりました。

②機械資材

産業資材関連商品は、日系自動車メーカーの生産回復が進み、前年同四半期比で売上、利益ともに好調に推移しました。機械・環境関連商品は、飼料加工機器関連については、消耗品は値上げの実施により堅調に推移しましたが、飼料業界全体の不振により、大型設備投資が控えられた影響で本体案件の計上が少なく苦戦しました。木質バイオマス関連事業は本体物件の計上なく、苦戦が続いていますが、保守・部品サービスの営業強化を進めました。科学機器関連商品については、例年低調となる4月は想定を超える本体納入があったものの、その後は入荷遅延等で本体納入が想定通りに進まず不調でした。

コスモス商事(株)が取扱う資源開発関連商品は、地熱関連機材が堅調でした。(株)スクラムが取扱うバイオ関連機器は、引き続き堅調に推移し、前年同四半期比で利益貢献しました。(株)ワイピーテックが取扱う機能性飼料原料は原材料価格の落ち着きから前年同四半期比で好調でした。

この結果、売上高は34,766百万円（前年同四半期比37.7%増）、セグメント利益（営業利益）は3,570百万円（前年同四半期比71.4%増）となりました。

③海外現地法人

Sanyo Corporation of Americaは、自動車関連商材は低調でしたが、ゴムおよびフィルム関連商材に堅調な需要があり、業績は前年同四半期比増となりました。三洋物産貿易（上海）有限公司は、リチウムイオン電池用関連部材などの需要は回復基調にあるものの、中国国内の景気低迷の影響を受け業績は前年同四半期比減となりました。Sanyo Trading Asia Co., Ltd.（タイ）は、自動車関連商材は特需により伸長しましたが、その他の商材においては販売費の増加等の影響を受け、業績は前年同四半期並みとなりました。Sun Phoenix Mexico, S.A. de C.V.は、メキシコ国内の自動車産業の復調による受注増もありましたが、為替差損の影響等で業績は前年同四半期比減となりました。Sanyo Trading India Private Limitedは、ゴム関連商材において既存の事業が順調に推移し、業績は好調でした。Sanyo Trading (Viet Nam) Co., Ltd.は、ベトナム工業全体の落込みの影響を受け、業績は低調でした。PT.Sanyo Trading Indonesiaは、自動車関連商材において特定の取引先向け商品の販売終了が影響し、業績は低迷しました。

この結果、売上高は26,558百万円（前年同四半期比1.9%増）、セグメント利益（営業利益）は1,030百万円（前年同四半期比5.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、現金及び預金や棚卸資産が増加した一方で売上債権が減少したこと等から、前連結会計年度末比1,018百万円増加し、56,151百万円となりました。

固定資産は、第1四半期連結会計期間に株式を取得し連結子会社化した㈱コスモ・コンピューティングシステムに係るのれんの計上や投資有価証券の購入や時価の上昇、投資等により投資その他の資産が増加したこと等から、前連結会計年度末比1,837百万円増加し、9,563百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は65,715百万円（前連結会計年度末比2,855百万円の増加）となりました。

(負債)

流動負債は、借入金や賞与引当金が増加した一方で仕入債務が減少したこと等から、前連結会計年度末比704百万円減少し、21,308百万円となりました。

固定負債は、繰延税金負債等の増加等から、前連結会計年度末比329百万円増加し、1,963百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における負債は23,272百万円（前連結会計年度末比374百万円の減少）となりました。

(純資産)

親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により株主資本が増加しました。投資有価証券の時価の上昇に伴うその他有価証券評価差額金の増加等からその他の包括利益累計額が増加しました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における純資産は42,442百万円（前連結会計年度末比3,230百万円の増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期連結業績予想につきましては、2022年11月8日発表の通期予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,879,997	7,088,228
受取手形、売掛金及び契約資産	21,968,319	20,501,608
電子記録債権	2,040,364	2,343,398
商品及び製品	23,067,033	23,736,013
仕掛品	1,114	54,849
原材料及び貯蔵品	57,256	182,318
その他	2,178,789	2,319,721
貸倒引当金	△59,788	△74,696
流動資産合計	55,133,087	56,151,442
固定資産		
有形固定資産	3,340,011	3,233,282
無形固定資産		
のれん	342,767	631,929
その他	201,701	192,008
無形固定資産合計	544,468	823,938
投資その他の資産		
投資有価証券	2,701,376	3,738,822
その他	1,170,707	1,801,300
貸倒引当金	△30,142	△33,650
投資その他の資産合計	3,841,940	5,506,472
固定資産合計	7,726,420	9,563,692
資産合計	62,859,507	65,715,135

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,767,354	11,085,909
短期借入金	5,823,164	6,441,358
1年内返済予定の長期借入金	69,960	54,930
未払法人税等	1,057,555	946,338
引当金	135,716	760,241
その他	2,159,347	2,019,677
流動負債合計	22,013,097	21,308,455
固定負債		
長期借入金	177,087	158,340
引当金	75,478	68,990
退職給付に係る負債	954,926	1,009,299
その他	426,252	727,059
固定負債合計	1,633,744	1,963,689
負債合計	23,646,842	23,272,145
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,587	1,006,587
資本剰余金	397,298	413,503
利益剰余金	35,502,368	38,027,088
自己株式	△136,678	△114,235
株主資本合計	36,769,575	39,332,944
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	796,488	1,329,512
為替換算調整勘定	1,193,967	1,337,435
その他の包括利益累計額合計	1,990,456	2,666,947
新株予約権	116,566	96,603
非支配株主持分	336,066	346,493
純資産合計	39,212,665	42,442,989
負債純資産合計	62,859,507	65,715,135

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年10月1日 至2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年6月30日)
売上高	79,271,448	91,433,259
売上原価	66,656,636	75,991,983
売上総利益	12,614,811	15,441,275
販売費及び一般管理費	8,407,344	10,104,621
営業利益	4,207,467	5,336,654
営業外収益		
受取利息	10,484	13,479
受取配当金	81,346	89,025
為替差益	683,081	160,099
その他	139,973	151,183
営業外収益合計	914,884	413,788
営業外費用		
支払利息	23,461	81,942
売上債権売却損	7,434	10,620
その他	10,845	21,879
営業外費用合計	41,741	114,442
経常利益	5,080,610	5,635,999
特別利益		
投資有価証券売却益	—	220,064
負ののれん発生益	360,832	—
特別利益合計	360,832	220,064
税金等調整前四半期純利益	5,441,443	5,856,063
法人税等	1,815,408	2,106,663
四半期純利益	3,626,034	3,749,400
非支配株主に帰属する四半期純利益	21,647	17,307
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,604,386	3,732,092

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	3,626,034	3,749,400
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△82,336	533,131
為替換算調整勘定	1,065,520	143,473
その他の包括利益合計	983,183	676,604
四半期包括利益	4,609,218	4,426,005
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,587,929	4,408,583
非支配株主に係る四半期包括利益	21,288	17,421

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年1月16日開催の取締役会における決議に基づき、2023年2月7日に譲渡制限付株式報酬として自己株式17,200株を処分しました。この処分等により自己株式は22,443千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式は114,235千円となっています。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	化成品	機械資材	海外 現地法人	計				
売上高								
外部顧客への売上高	27,828,581	25,248,529	26,064,921	79,142,032	87,571	79,229,603	41,844	79,271,448
セグメント間の 内部売上高又は振替高	3,511,716	618,762	1,900,248	6,030,727	45,025	6,075,752	△6,075,752	—
計	31,340,298	25,867,291	27,965,170	85,172,760	132,596	85,305,356	△6,033,908	79,271,448
セグメント利益 又は損失(△)	1,885,704	2,082,633	1,091,397	5,059,736	△131,204	4,928,531	△721,064	4,207,467

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでいます。

2. 調整額は、以下のとおりです。

(1) 外部顧客への売上高の調整額41,844千円は、管理会計との為替調整額です。

(2) セグメント利益又は損失の調整額△721,064千円には、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費△592,342千円、管理会計との為替調整額△275,986千円が含まれています。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(負ののれん発生益)

「機械資材」セグメントにおいて、(株)スクラムの株式を新たに取得し連結子会社としたことに伴い、負ののれんが発生しています。当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては360,832千円です。

なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれていません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	化成品	機械資材	海外 現地法人	計				
売上高								
外部顧客への売上高	29,279,357	34,766,619	26,558,976	90,604,953	734,690	91,339,644	93,614	91,433,259
セグメント間の 内部売上高又は振替高	3,538,759	759,343	1,773,674	6,071,777	170,930	6,242,707	△6,242,707	—
計	32,818,116	35,525,963	28,332,651	96,676,730	905,621	97,582,352	△6,149,093	91,433,259
セグメント利益 又は損失(△)	1,667,909	3,570,336	1,030,350	6,268,596	△225,569	6,043,026	△706,372	5,336,654

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業および不動産賃貸業等を含んでいます。

2. 調整額は、以下のとおりです。

(1) 外部顧客への売上高の調整額93,614千円は、管理会計との為替調整額です。

(2) セグメント利益又は損失の調整額△706,372千円には、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費△769,515千円、管理会計との為替調整額△250,688千円、その他の連結調整額313,831千円が含まれています。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、㈱コスモ・コンピューティングシステムの株式を取得し、連結子会社としたことにより、「その他」セグメントにおいて、のれん438,082千円を計上しています。また、第2四半期連結会計期間において、前連結会計年度に行いました㈱スクラムの全株式の取得に係る条件付き取得対価の追加支払が発生したことにより、「機械資材」セグメントにおいて、のれん26,106千円を計上しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	合計
	化成品	機械資材	海外 現地法人	計			
日本	23,576,223	22,079,406	140,565	45,796,194	87,571	-	45,883,765
アジア	3,349,219	878,024	12,368,822	16,596,065	-	-	16,596,065
北米	657,847	1,042,070	12,438,623	14,138,540	-	-	14,138,540
その他	245,291	1,249,028	1,116,909	2,611,228	-	-	2,611,228
顧客との契約から生じる収益	27,828,581	25,248,529	26,064,921	79,142,032	87,571	-	79,229,603
その他の収益	-	-	-	-	-	41,844	41,844
外部顧客への売上高	27,828,581	25,248,529	26,064,921	79,142,032	87,571	41,844	79,271,448

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでいます。

2. 調整額は、管理会計との為替調整額です。

3. 顧客との契約から生じる収益は、販売先の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	合計
	化成品	機械資材	海外 現地法人	計			
日本	25,449,861	31,856,968	6,561	57,313,390	734,690	-	58,048,080
アジア	3,055,003	870,673	12,138,329	16,064,005	-	-	16,064,005
北米	492,382	1,351,927	13,051,447	14,895,756	-	-	14,895,756
その他	282,111	687,051	1,362,639	2,331,801	-	-	2,331,801
顧客との契約から生じる収益	29,279,357	34,766,619	26,558,976	90,604,953	734,690	-	91,339,644
その他の収益	-	-	-	-	-	93,614	93,614
外部顧客への売上高	29,279,357	34,766,619	26,558,976	90,604,953	734,690	93,614	91,433,259

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業および不動産賃貸業等を含んでいます。

2. 調整額は、管理会計との為替調整額です。

3. 顧客との契約から生じる収益は、販売先の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。